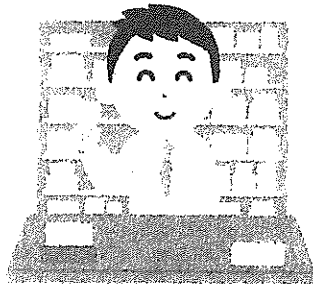


透析患者と薬について



飲み残しをお金に換算すると 500 億円！

薬が余った経験がありませんか？そんな時どうしていますか？

実は、透析患者に限らず日本では薬の飲み残しが多く、お金に換算すると500億円（2022年）とも言われています。なんと無駄なことをしているのでしょうか。「透析患者は薬が余ろうが増えようが、お財布が痛まないのも残薬への関心がない」と言われていますがあなたはどうでしょうか？

透析にかかる医療費は年間約400～500万円（多数が年間の所得を上回る額だろう）は、ほぼ全額を他者が負担してくれています。ずっとずっとです。そのことを「制度」という名のもとに当然のような顔をしていませんか？

日本経済が影響するのが社会保険制度・医療保険制度です。人のお金で生きている私たちはせめて自己管理をきちんとしていかなければならないと思います。

薬が余ったら？



薬の飲み残しがあった場合、医療者へ報告していますか？

薬はリン吸着剤に限らず飲み残しがないように飲むことが第一ですが、ご飯の量や血圧測定の結果で服薬を控える場合があります。もし、薬に残りがあったら主治医や看護師に報告しましょう。服薬の適正量を再検討していただけるでしょうし、薬の見直しにもなります。

残薬の対応は施設によって異なりますが、次回の処方で差し引いてもらったら、医療費の無駄使いにならなくてすみますね。（参考—他県情報誌）

みどり余話

円安ってどうなん？

円安の違いは？

現在異常な円安で、物価高が暮らしを圧迫し、その原因が異常な円安だといわれています。外国の通貨に対して円の価値が下がることを円安と言われます。例えば1ドル＝110円から1ドル＝150円になると、同じ1ドルを手に入れるのに40円多く支払わなければなりません。つまりドルに対して円の価値が下がったわけで、このことを円安になったと言われます。

円が110円から150円増えたのになぜ円安なのと思われるかもしれませんが、円安はドルに対する円の価値が下がったことを意味します。従ってドルに対し円が増えるほど円安です。逆に1ドル＝150円から110円に変わると、同じ1ドルを手に入れるのに40円少なく済みます。つまりドルに対して円の価値が上がったことになり、これを円高になったといえます。